

令和元年度第4回教育研究評議会議事録

日時 令和元年7月17日(水) 14:30～16:27
場所 S-Port 3階大会議室
出席者 石井、丹沢、木村、東郷、池田、手島、寺村、小谷、河合、笹原、白井、日詰、田島、江口尚、熊倉、近藤、小西、田中、北村、川田、喜多、森田、鳥山、江口昌、原、三村、朴、澤田の各評議員
陪席者 鈴木、村松の各監事、青木、宮原の各学長補佐
矢永理学部准教授（審議事項8のみ）

議事に先立ち、議長から、7月1日付けで本学の非常勤理事（学長特命事項担当）となり、本会議委員に加わった池田恵一氏の紹介があり、続いて本人から挨拶があった。

I 前回議事録の承認について

令和元年度第3回教育研究評議会議事録（案）の承認について、議長から、田島委員から提出されていた修正意見については議長の判断により、記載していない原案を示しているが、議事録の承認は本会議で行うため、意見があればいただきたいとの発言があり、審議の上、原案どおり承認した。

II 審議事項

1 新法人設立・大学再編について

議長から、新法人設立・大学再編について、資料1により、第9回静岡大学・浜松医科大学連携協議会（令和元年6月26日開催）での審議内容について報告があった。

また、議長から、学生との懇談会を行っていること、「法人統合・大学再編についての考え方とりわけ学生諸君へー」の表題で、学長ブログに掲載したとの報告があり、出来るだけ多くの学生と対話をする機会を設けたいので、所属学生に考えを伝えていただきたいとの発言があった。

なお、近藤委員から、浜松地区大学の名称に関し、7月16日の新聞報道により、今後の様々な話し合いや調整に混乱をきたすことになったことについて情報学部長としてお詫びしたいとの発言があった。

2 教養教育の改革について

丹沢委員から、教養教育の改革について、資料2により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

<議事に関連して委員から出された意見>

- ・日詰委員から、数理データサイエンスについては学部内で十分議論が出来ておらず、一部の学科でカリキュラムに対応できるか懸念があるため、単位不認定の場合の対応について引き続き検討が必要であるという意見もあることを理解いただきたいとの発言があった。また、丹沢委員から、現在WGにおいて様々な想定をし、議論を行っているとの発言があった。

- ・鳥山委員から、数理教育の具体的な内容が示されていないと感じているとの発言があり、丹沢委員から、現在、次年度にかけ全体を検討中であること、また、小西委員から、数理データサイエンス教育検討WGで内容についての素案を各部局の委員に諮り承認されていること、内容の詳細を詰める段階に入っているのご意見あればお寄せいただきたいとの発言があった。
- ・森田委員から、教養教育は次々に変革しており、全体像が崩れてしまう懸念があるため、全体を見ながら慎重に進めていただきたいとの発言があった。

3 国立大学法人静岡大学学則、静岡大学学部学生の大学院授業科目の受講に関する申合せ等の一部改正について

丹沢委員から、国立大学法人静岡大学学則、静岡大学学部学生の大学院授業科目の受講に関する申合せ等の一部改正について、資料3により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

4 静岡大学における特別な教育課程の履修に関する規則の一部改正について

丹沢委員から、静岡大学における特別な教育課程の履修に関する規則の一部改正について、資料4により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

5 静岡大学大学院規則の一部改正について

丹沢委員から、静岡大学大学院規則の一部改正について、資料5により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

6 静岡大学地域創造学環地域連携会議規則の一部改正について

丹沢委員から、静岡大学地域創造学環地域連携会議規則の一部改正について、資料6により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

7 静岡大学動物実験規則の一部改正について

木村委員から、静岡大学動物実験規則の一部改正について、資料7により提案があり、審議の結果、原案どおり承認した。

<議事に関連して委員から出された意見>

- ・小谷委員から、病原体を扱う実験等を行わないことを規定するが、将来的に実験を考えている教員は出てこないのか質問があり、木村委員から想定していないとの回答があった。また、朴委員から本学には設備が無いため、実験が行えない状況であるとの発言があった。

8 静岡大学放射線障害予防規則等の改正について

矢永准教授から、静岡大学放射線障害予防規則等の改正について、資料8により提案があり、審議の結果、安全衛生センター長及び副センター長が了解し、安全衛生委員会への説明を行うことを条件に、これを承認した。

9 研究拠点形成費等補助金（Society5.0に対応した高度技術人材育成事業）の大学間連携に関する協定の締結について

丹沢委員から、研究拠点形成費等補助金（Society5.0に対応した高度技術人材育成事業）の大学間連携に関する協定の締結について、資料9により提案があり、審議の結果、これを承認した。

10 モルドバ科学アカデミー（モルドバ共和国）との大学間交流協定の締結について

白井委員から、モルドバ科学アカデミー（モルドバ共和国）との大学間交流協定の締結について、資料10により提案があり、審議の結果、これを承認した。

III 報告事項

1 令和元年度第4回企画戦略会議（令和元年7月3日）報告

議長から、令和元年度第4回企画戦略会議(令和元年7月3日)について、資料11により報告があった。

2 静岡大学役員（非常勤理事）について

議長から、静岡大学役員（非常勤理事）について、資料12により、7月1日付で任命したとの報告があった。

3 附属浜松小・中学校の小中一貫校化について

議長から、附属浜松小・中学校の小中一貫校化について、資料13により報告があった。

4 教員採用等報告について

議長から、教員の採用（1件）及び昇任（1件）について、資料14により報告があった。

5 平成30年度決算について

手島委員から、平成30年度決算について、資料15により報告があった。

6 内閣府「成長戦略」広報資料への本学ABPの紹介について

白井委員から、内閣府「成長戦略」広報資料への本学ABPの紹介について、資料16により報告があった。

IV その他

1 国立大学改革強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）の申請について

手島委員から、国立大学改革強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）の申請について、資料17により説明があり、意見交換を行なった。

<議事に関連して委員から出された意見>

- ・森田委員から、事前相談での指摘事項等について、差し支えない範囲で教えていただきたいとの質問があり、手島委員から、昨年度の申請に対する所見を踏まえた見直しやKPI

の設定について意見をいただいているとの回答があった。

- ・田中委員から、KPIについては議論された数値であるのか質問があり、手島委員から、積算根拠をもって数値を記載しているとの回答があった。

2 令和2年度概算要求について

手島委員及び丹沢委員から、令和2年度概算要求（教育研究組織整備）について、資料18により説明があった。

3 科研費説明会及び集中研修会の開催について

木村委員から、9月24日、25日に開催する科研費説明会及び集中研修会の開催について、資料19により案内があった。

また、笹原委員から、開催期間中における一時保育について紹介があった。

4 学生・中堅教員と学長との懇談会について

議長から、学生・中堅教員との懇談会について、資料20により報告及び今後の予定について説明があり、参加者推薦への協力の謝辞があった。

以上